

R2強化大会（10月10日・11日）

参加学校（顧問・生徒）への連絡事項

- 健康状態申告書（団体用または個人用）の提出
- 体温37.5°C以上の発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合は参加しない。
- 原則、マスク着用する（競技中、アップ・ダウン中以外）。
- 咳エチケット（咳をする場合はマスク着用、ハンカチや袖口で口を覆う）
- 三つの密を避ける対策をとる。
 - ・「密閉」空間にしないよう、こまめに換気する。
 - ・「密集」しないよう人ととの距離をとる。
 - ・「密接」した会話や発生は避ける。
- こまめな手洗い、アルコール消毒

1 大会当日の動き

◆第1駐車場～第3駐車場、第4駐車場（学校バス）を利用する。

- ・6:30 高体連常任委員事務局員集合・受付 → 「健康状態申告書」提出でIDカード配付
- ・7:00 役員審判員受付（会議室2外側） → 「健康状態申告書」提出でIDカード配付
- ・7:00～学校（選手）受付（庶務室前）
 - 各顧問が生徒の体温・体調を確認し「健康状態申告書」（団体用または個人用）を提出
 - 参加費（釣り銭のないように）。金額は別紙参照
 - 参加申込書（公印）の提出。
- ・7:10 開門（補助競技場、メイン第1ゲート、第2ゲート）
- ・7:20 セッティング（補助員）※セッティング補助員はIDカード携帯する。
- ・7:40 主任打ち合わせ（会議室1）
- ・8:00 審判全体打ち合わせ（正面本部席前）、各部所打ち合わせ（各部所）
- ・9:00 競技開始

2 大会運営・競技運営について

（1）大会全般の確認・注意事項

○役員審判受付・学校受付等

- ・庶務室前：学校受付
- ・会議室2外側：役員審判受付、来賓受付、報道受付、その他

○IDカード規制

【役員審判・選手】：当日、受付で配付

- ・IDカードは健康状態申告書が提出されている者のみに配付するものであり、他人（OBや友人等）への譲渡、生徒同士の使い回しは絶対にしない（IDカードは健康状態が良好である証も兼ねているため）。

- ・IDカードが無い場合は、一切、競技場・補助競技場内へ入ることはできない。

- ・IDカードを紛失しても再発行はしない。

- ・ケースは配布しません。各自で用意するか、代替大会のものを再利用する（必ず首から下げられるよう工夫する）。手持ちはしないように（IDの紛失防止）。

○競技場への出入口

【当日朝】

- ・正面玄関（役員審判、セッティング補助員）
- ・会議室2外側扉（役員審判、セッティング補助員）

【競技中】※正面玄関は閉鎖

- ・会議室2外側扉から出入口（役員審判、競技補助員、報道等）
- ・第1ゲート：選手の入退場
- ・第2ゲート：選手の退場、各学校待機場所への入退場

○補助員について

- ・IDカード以外に腕章を必ず着用
 - ・原則、マスク着用（補助員業務中は熱中症対策で必要に応じて外す、その際はソーシャルディスタンスを確保する）。
 - ・顧問は補助員業務する生徒の保護者に、業務内容を説明し、事前に同意を得る。

○横断幕について

- ・抽選はしない。サイドスタンド、バックスタンドの上段・中段のみ。各校譲り合って張る。

○生徒のコーチングについて

フィールド競技(特に跳躍種目)において生徒がスタンドから指示することは行わない(例:走幅跳の助走練習や試技の際、生徒がスタンドから踏切位置の確認や指示すること等)

○補助競技場での練習について

2日目に補助競技場で円盤投、ハンマー投を行うため、ウォーミングアップエリアを一部規制する。規制された区域には絶対に入らない。

○競技場のレイアウト（ゲート、審判控室等）



- ・競技場周辺に待機場所を確保することは可。ただし、3密対策をする（テント設営する場合は密閉状態にしない等）。
 - ・補助競技場は各学校でテントを設営するなど、控え場所としては開放しない（ID規制）。
 - ・メインスタンド下、バックスタンド下を学校毎に割り振る（人数を制限し密にならないように）。また、スタンド下の密集を防ぐことから、空いているスペースを自由に確保することは禁止。
 - ・バックスタンド、サイドスタンドを控え場所として開放する（熱中症対策のため、安全に留意しテント設営は可とする）。学校毎のエリア指定はしない。
 - ・~~メインスタンドの保護者席エリアには、原則、立ち入らない。~~
 - ・メインスタンドは保護者の入場がないため、観覧席として生徒に開放する。その際、座席の「使用禁止」のシールが貼ってある場所は使用しない（間隔をあけて座る）。また、スタンド屋根下（記者席等）は一部立ち入り禁止とする。
 - ・各スタンドから観戦する場合は、密にならないよう座る。
 - ・テントを設置する場合は、原則、天幕のみにし、風通しを確保する（雨天の場合に限り、換気が十分なされることを条件に、横幕は2辺のみ可とする）。また、テント内においてもソーシャルディスタンスを確保する（ドーム型テントは使用禁止。1人用テントで更衣室として使用する場合は可）。

○雨天走路

ウォーミングアップでは使用しない（基本、審判控え場所）。ホームストレート直線種目のスタート前待機、跳躍競技の選手の出場人数によっては、待機場所として開放する場合もある。跳躍の審判員、近くに待機している審判員で、選手待機場所のエリアのコントロールをする。

○表彰は実施しない・・・賞状は、会議室2に準備する。帰りに顧問が持ち帰る。

○ゴミは各学校で持ち帰る。

(2) 韻技に関する注意事項

○競技場内の道線

- ・400m800m の際、スタート付近が密集するので、フィニッシュした選手は、荷物を持って速やかに第2ゲートより退場する（着替え等は競技場外で行う）。

○靴底の厚さ（厚底シューズ）について

- ワールドアスレティックス（WA）シューズ改訂規則を適用せず、競技での使用を認める。ただし、**招集所で検査を行い、規定外シューズの使用者はその旨をリザルトに明記する。**
- 招集所：第1ゲート内側に設置。招集については通常どおり（現地招集はしない）。
 - 欠場届・変更届・同時出場届・リレオーダー用紙等は招集所で受け取る（提出場所：招集所）
 - 腰ナンバーカードはレース後、各自で取り外し、回収 BOX に入る（補助員は取り外さない）。
 - 給水はペットボトルの水を、紙コップで提供する（3000m 5000m 3000SC 5000mW）。
 - 競技に使用する消耗品（炭酸マグネシウム等）の共用は禁止。炭酸マグネシウムは個人所有のもの、または必要な場合は審判から必要量を手渡す（審判は手渡す際、ゴム手袋を使用すること）。
 - 競技前後には流水・石鹼などで手洗い、またはアルコール消毒を必ず行う（特に投てき等、用具を共用する場合）

3 感染症及び熱中症対策について

以下の項目について各学校で遵守するようお願いします。

（1）感染症対策

- その日参加する生徒全員（選手、補助員、マネージャー、応援部員）の健康状態申告書（高体連団体用）を必ず提出する。
- 顧問は、当日提出する健康状態申告書の他に、参加者名簿（氏名、性別、年齢、住所等を記載）を作成・保管し、要請があった際にはすぐ提出できるよう準備しておく。
- 大会当日、体温37.5℃以上の発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合は参加しない。
- タオルやボトルの共用はしない（マイタオル、マイボトルを持参）
- 競技前後には石鹼等でしっかりと手洗い、またはアルコール等で手指の消毒を徹底する（器具等を共用するため）。
- 競技中、アップ・ダウン中以外は原則、マスクを着用する（特に待機場所でのマスクの着用を徹底）。
- 大会中、大きな声で会話、応援等はしない。
- 飲食（特に昼食）する際は、密集した状態では飲食しない（同方向を向いて飲食する）。
- 待機場所としてテント等を使用する場合は、密閉空間とならないよう十分な換気を行う。
- 大会前後のミーティングは三つの密を避け、必要最低限・短時間で行う（集合写真、肩を組んでの円陣、声出し等はしない）。
- 大会中、発熱等の症状を訴える生徒が出た場合、保護者の迎えを依頼し、本部へ至急知らせる。
- 大会後、新型コロナウイルスの感染が確認された場合、所属する学校や行政機関の指示に従い対応し、顧問から高体連専門部へ至急連絡する。